

応用力学運営委員会
力学的感性和教育 小委員会
第4回議事録（案）

記録 近藤

- A. 日 時 2008年3月10日（月） 15：00～17：30
- B. 場 所 建築会館 会議室
- C. 出席者：新宮清志，高島秀雄，朝山秀一，小嶋英治，佐藤淳，辻聖晃，近藤典夫，松野浩一（オブザーバー），片迫朝男（オブザーバー）（以上、9名）
欠席者：朝川剛，西村督，西谷章，堤和敏，諸岡繁洋，安井雅明，山崎光悦，山田耕司（以上、8名）
- D. 提出資料
- ・資料07-15：力学的感性和教育 小委員会 第3回議事録（案）（近藤）
 - ・資料07-16：2008年度委員会活動計画案（新宮）
 - ・資料07-17：構造設計ナビゲーションー建築構造分野に於ける最適化技術の活用例ー（辻）
 - ・資料07-18：シンポジウム「創造的な構造設計を支える知恵と技術」（辻）
 - ・資料07-19：台地の侵食アルゴリズムを用いた不定形空間構造の最適化形態（朝山）
 - ・資料07-20：自己相似カテナリーを用いた建築骨組の形状生成（朝山）
 - ・資料07-21：フラクタル幾何学に基づく積層アーチの自動形状生成とその応用に関する研究（朝山）
 - ・資料07-22：フラクタル幾何学に基づく積層アーチの風荷重に対する力学的性質に関する研究（朝山）
- E. 審議及び報告事項
- 1) 前回議事録確認（近藤）
了承された。
 - 2) 話題提供
 - 2.1 構造設計ナビゲーションー建築構造分野に於ける最適化技術の活用例ー（辻）
シンポジウム「創造的な構造設計を支える知恵と技術」（辻）
最適化手法・技術についての話題提供で、寸法最適化・形状最適化・位相最適化によって作られた幾つかの施工例が紹介された。
 - 2.2 台地の侵食アルゴリズムを用いた不定形空間構造の最適化形態（朝山）
自己相似カテナリーを用いた建築骨組の形状生成（朝山）
フラクタル幾何学に基づく積層アーチの自動形状生成とその応用に関する研究（朝山）
フラクタル幾何学に基づく積層アーチの風荷重に対する力学的性質に関する研究（朝山）
自然と建築構造の形態という主題で、自然形態を建築構造またはデザインに応用すること、フラクタルの考え方を使って構造形態の最適化へ応用することなどを話され、

施工例が紹介された。

F. その他

- ・ 山崎委員の資料の希望者は新宮主査まで申し出てください。
- ・ 片迫氏が当小委員会にオブザーバーとして参加する事になった。また、次年度から自然形態の建築構造への応用WGの委員として参加する事になった。
- ・ 辻委員が当小委員会のHPを担当しているが、著作権を考慮すると図や写真などはHPに載せられる範囲はどこまでになるのかの線引きが難しい。これについては事務局を相談することとなった。
- ・ 2008年度小委員会活動計画案が新宮主査より報告された。
- ・ 次回の話題提供は、佐藤委員・片迫氏（オブザーバー）の両名である。
- ・ 次回委員会：5月ごろでアンケートを行い決定する。

以上